

2-4 認知症介護指導者としてのその他の活動

認知症地域支援推進員・行政・指導者による取り組み (～「安心声かけ運動」の活動～)(大阪府高槻市)

【活動の概要】高槻市の取り組みとして、「安心声かけ運動(徘徊模擬訓練)」を実施。平成25年度に2回、平成26年度1回(年度内に後1回予定)実施。指導者は講師としての役割であるが、行政・認知症支援推進員と共に、企画・立案の段階から関わりをもっている。開催地区は、3回とも異なる地区で実施し、地区福祉委員との打ち合わせにも参加。

取り組みのきっかけ・背景

高槻市より、認知症支援推進員へ「今年
は徘徊模擬訓練できないかな～」の一言
をきっかけに、他市の取り組みを視察に行
く事となる。推進員と行政が徘徊模擬訓練
の高槻版の施策案を提案し、高槻市内の
各地区への発信をおこなった。



取り組みの発展と成果

高槻市は、平成25年4月の地点で3
名の認知症介護指導者が市内の事
業所に従事している。(平成26年11
月地点では4名に増えている)

「認知症になっても安心して暮らせる
街作り」を目指して始めは行政、認
知症地域支援推進員とで徘徊模擬
訓練の案を考えていくが、提案の段
階から指導者に声がかかり、企画・
立案の段階から指導者が関わる事
となる。

第1回は100名近くの住民・専門職が
集まり、立ち見がでるほどの訓練と
なった。それを皮切りに3回の徘徊模
擬訓練実施となる。

～安心声かけ運動 実施から～

「安心声かけ運動」に
参加した認知症に関心
のある他地区の住民
から、徘徊模擬訓練ま
ではいけないが、独自
で勉強会をしたい。と
講師を依頼される。

